

令和6年第4回定例会一般質問通告書

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
安藤 和久 議 員	1 高齢者の待遇について	(1) 総合型運動公園の計画があると聞いているが、進捗状況はどのようになっているのか。	町 長
		(2) 空港臨海公園多目的広場（スギラビーチ）のトイレ設置の計画や建設予定は、どのように進んでいるか。	
		(3) 以前、高齢者向けのポイントカードがあったと思うが取りやめた理由は何か。	
		(4) 高齢者が参加している「いきいきサロン」「長寿者学級」「まぐみ体操」などがあるが、町はどのぐらい係っているのか。また、出席率はどのような状況か。	
	2 町内の選挙事務等について	(1) 先の衆議院選挙の集計が、他の市町村に比べると遅かったようだが、原因は解明したのか。	町 長
		(2) 喜界町における衆議院選挙の年代別投票率が分れば教えてほしい。また、投票率を上げるための手立ては、どのようなことを行っているのか。	
		(3) これまで、不在者投票、期日前投票、各投票所の選挙事務等に携わっている方は、ほとんど同じ方がしているように思えるのだが、選考の基準は何か。	
生島 常範 議 員	1 災害に強い町づくりについて	坂嶺地区で開催された防災講話「南海トラフ地震は、概ね100～150年間隔で繰り返し発生する。昭和の地震から約80年経過」や「明治44年6月15日の喜界島地震の死者1名、傷者9名、住家全壊401棟、半壊533棟」等起きた事実を学んだ。今年で113年になる。	町 長
		(1) 課題となっている早町小校区の避難所について、分散避難や長期避難のため、早町支所や消防車庫を備えた「防災センター」を望む声が強い。第6次総合振興計画に追加できないか伺う。	
		(2) 台風10号は予想外のコースで停電が5～7日にも及んだ。常備の高所作業車が少ないことが要因の一つと考えられるため、常備の車両を増やす要望はできないか伺う。また、普段から町民、地域が取り組むべきことは無いか伺う。	
		(3) 今回は電話回線や光ファイバー回線の断線で電話通話やインターネット障害が1ヶ月も続き、全国から災害救助車に支援を頂いた。障害の長期化の原因と支援車両数、人員数を伺う。	
		(4) 令和4年度から島内34か所の集落公民館の雨戸設置と内トイレ化改修をしており、好評である。それぞれの進捗状況を伺う。	
	2 児童福祉・母子健康増進にも活用される「ふるさと納税事業」の拡充について	(1) 町長をはじめ職員の努力で令和2年から1億円を超え、昨年も1億6千万円の納税額だった。職員の負担軽減と更なる発信、特産品PR充実のため職員増員はできないか伺う。 (2) 世界地質遺産100選認定や喜界島に縁の有る方々のお陰でテレビ番組にも度々取り上げて頂いている。次年度はジオパーク登録申請の年でもある。全国で活躍している本町出身者や縁の有る方々に「観光大使」になって頂き更に盛り上げて欲しいと思うが計画を伺う。	町 長

令和6年第4回定例会一般質問通告書

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
生島 常範 議 員	3 子育て環境のより一層の充実を目指して	(1) 群島内自治体では、令和7年度から非課税、課税世帯に関わらず高校生まで「子ども医療費の窓口負担ゼロ」を広報誌で告知している。本町の取り組みの計画を伺う。 (2) 令和7年4月から、がん治療と指定難病患者の治療の為に旅費、宿泊費に対して助成が決定した。島内では、治療、入院が困難な子ども及び同伴保護者への旅費、宿泊費助成の声も多い。若い世代のUターン、移住先の決め手にもなる。検討できないか伺う。	町 長
	4 より暮らしやすい町を目指して	空港駐車場は送迎用車両専用の為、利用時間を過ぎた宿泊駐車は出来ない。やむを得ず宿泊駐車する方々から「付近に駐車場が無いので困っている」との声が多い。送迎客に迷惑を掛けず気持ちよく利用できる仕組みが必要だ。 (1) 民間事業者がロコミで有料駐車サービスを提供しているが、台数も限られ告知出来ない状況である。町として「送迎車両専用駐車場」の周知と併せて第2、第3の民間駐車場誕生を促す告知等対策が出来ないか伺う。	
	5 「危機的状況にある言語・方言サミット」開催について	今年度は12月7日、8日に東京都八丈町（八丈島）にて開催され、喜界町からも町職員や町民が参加する。 (1) 令和8年度は喜界町開催を予定しており、その為の「推進協議会」も検討中とのこと。準備には受入れ環境構築等も含め最低2年は必要だと思うが、「推進協議会」発足の進捗を伺う。 (2) 今年の開催地八丈町は、平成21年「ユネスコ、世界の6000語を調査。2500語が消滅の危機。八丈語も危険！」という地元紙の報道を機に平成25年に「島ことばを話そう 伝えよう！」という冊子を発行している。喜界町も開催前に、このような対応が必要と思うが見解を伺う。	教育長
倉橋 博都 議 員	1 ハイリスク妊産婦出産支援について	(1) 新生児に先天性の重大な疾患があると診断され、県内の医療機関では治療等が受けられない場合、県外医療機関で治療を受け長期間の入院生活を余儀なくされます。当然、保護者は喜界島と県外医療機関との二重生活となり経済的にも厳しい状況となることから、2点お伺いします。 ① 先天性の疾患等で県外医療機関に長期入院されている新生児等の保護者に対し、交通費の助成をハイリスク妊産婦出産支援に新設するか、又は新たな制度を創設する必要があると考えるが見解を伺う。 ② 現在、ハイリスク妊産婦出産支援では、保護者への支援として宿泊費の助成を行っていますが、1泊5000円の上限で、1回の妊婦出産につき90泊分までの3分の2と制限があります。90泊分とした経緯等についてお伺いします。また、宿泊日数の制限の撤廃、あるいは拡大は可能かを併せてお伺いします。	町 長

令和6年第4回定例会一般質問通告書

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
倉橋 博都 議 員	2 喜界町「食」の 自立支援事業に ついて	(1) 喜界町「食」の自立支援事業の委託業者から物価高騰等により、現在の委託料では事業の継続が厳しいとの声が上がっておりますので、2点お伺いします。 ① 本事業の実施要綱の第11条に「町長は、委託先が行う事業の内容を定期的に調査し必要な措置を講じるものとする。」とありますが、この調査は利用者と委託業者の双方の視点に立った調査にするべきであると考えますが、見解を伺います。 ② 調査結果や経済状況を総合的に勘案して委託料の見直しを検討するお考えはありませんか。	町 長
	3 嘉鈍集落の巨大 ソテツについて	(1) 令和5年第2回定例会において、町指定の文化財である巨大ソテツの保存、活用等について質問した際、教育長は、喜界町文化財保護審議会で審議、検討すると答弁されました。 ① 喜界町文化財保護審議会の審議、検討結果についてお伺いします。	教育長
土岐 和貴 議 員	1 地方自治の担い手 不足、若者の公務 員離れについて	(1) 令和6年度喜界町職員採用候補者試験の2次募集案内が広報きかいで掲載された。全国的にも地方公務員の受験者数の減少や若者層の離職の増加が大きな課題に挙げられている。多種多様な幅広い業務を所管し、住民サービスの土台であることから、この問題については早急に対応していかなければならない。 ① 前年度の受験者数を伺う。 ② 何故、地方公務員のなり手不足が問題になっているのか、本町の見解を伺う。 ③ 本町で公務員受験者数の増大に向けて取り組んでいることは。 ④ 日本の地方自治体のほとんどが多様な業務を少数制で対応しているが、本町の体制は整っているか。 (2) 何故、若者が公務員を希望しないのか。処遇の問題や自己成長のわかりづらさ、楽しく働きたいなど多くの意見が挙げられる。 ① 問題の一つに年功序列的な賃金体系が挙げられるのではないかと。 ② 仕事の面白さ、やりがい、仕事を通じての成長を近年の若者は求めている。自己成長ができる環境づくりに、本町はなっているのか。 ③ 今後に向けて採用枠の見直しが必要ではないかと。 (3) 島の未来を担う学生たちに、早い段階で「地方公務員」の大切さを伝えていく、そして学んでもらうために、庁舎内に学生が集う「学生課」を新設してはどうかと考えている。実現できれば、早い段階で学生たちが「島に興味を持ち」「地方公務員」に魅力を感じ、なり手不足の解消に繋がるのではないかと。 ① 放課後、「学生課」に集まり、島の課題や現状を学生たちで協議し、その内容もしっかり庁舎内全体で共有する。予算を掛けずにお試しでも実施できる内容だが、本町の見解を伺う。	町 長

令和6年第4回定例会一般質問通告書

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
土岐 和貴 議 員	1 地方自治の担い手不足、若者の公務員離れについて	② 職員と学生のコミュニケーションで、先輩方の頑張りや取組を身近で感じてもらえる新たな取組だと考える。「学生課」については、職員や学生に聞き取りやアンケート等を実施して頂けないか。	町 長
	2 防災・減災対策の推進について	(1) 近年、地震や豪雨・台風など、災害が大規模化・頻発化し、各自治体における防災・減災対策の重要性が一層高まっていることから、「緊急防災・減災事業債」、「緊急自然災害防止対策事業債」、「緊急浚渫推進事業債」を積極的に活用できる事業が拡充している。「緊急防災・減災事業債」については、東日本大震災を教訓として、喫緊の課題である防災・減災対策のための地方単独事業を全国レベルで早急に進めることができるようになってきている。 ① 緊急防災・減災事業債は、地方債の充当率が100%で、その内の元利償還金の70%が地方交付税措置とされており、地方自治体にとって極めて重要な財源である。地方自治体が単独で防災インフラの整備を実施できるよう創設された地方債であるが、本町において防災、減災事業の今後の計画等を伺う。 ② 令和6年度の当初予算では地方債の中で緊急防災・減災事業債の限度額400万円で計上されていたが、事業内容を伺う。 (2) 令和6年元日に発災した能登半島地震では、多くの小中学校舎が避難所として活用された。特に体育館は、授業に支障をきたすことが少ないことから、普通教室、特別教室に比べ、避難所として利用されていることが多かった。 ① 体育館の老朽化等の調査も含めて、小中学校の体育館、町立体育館等に空調の設置を検討して頂けないか。 ② 緊急防災・減災事業債又は国庫補助事業を活用できないか。	町 長
	3 離島漁業の再生支援について	(1) 離島漁業再生のためには、地域資源である漁場の生産力の向上を図りつつ、地域の創意工夫により各島の特性を最大限に活用する取組や新規就業者の確保・定着を促進する必要がある。 ① 本町において漁業の減少の要因として、初期費用が高い、労働環境の厳しさ、少子高齢化、過疎化、輸入水産物が増大したこと、不合理漁業や密漁などが考えられる。本町では漁業の減少について、どのように考えているか伺う。 ② 離島再生支援交付金による実績報告が令和3年度までは喜界町ホームページに掲載されているが、その後の実績はどのようなになっているか。 ③ 離島再生支援交付金の今後の活用方法や計画はあるか。	町 長

令和6年第4回定例会一般質問通告書

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
土岐 和貴 議 員	3 離島漁業の再生 支援について	(2) 一定の条件を満たす、漁業者・水産加工業者等が、 経営の近代化又は改善及び維持安定を図る様々な融資 制度がある。	町 長
		① 水産業に関する融資制度について、問い合わせ等は あるか。	
		② 新規就業者の問い合わせはあるか。	
		③ 新規就業者を増やすために協議していることはある か。	
		(3) 輸入水産物が増大したことも含めて、今後有事や自 然災害等で長期間輸入がストップした場合、現在の備 蓄だけでは対応できない。そのため、地域資源である 漁業の生産力の向上が必須になってくる。	
		① 漁業の生産力向上に向けて協議はしているか。	
		② 漁協組合とどのような連携をされているか。	町 長 教育長
		(4) 子どもたちが、本町の水産資源の種類や美味しさ、 大切さへ理解を深めることや食育の一環として、本町 で漁獲されたものを食材として学校給食等へ提供でき ないか伺う。	
原田 尚樹 議 員	1 「日本で最も美し い村連合」につ いて	2009年10月6日に本町は、鹿児島県では唯一「日本で最 も美しい村連合」に承認を受け加盟した。日本で最も美 しい村連合は、素晴らしい地域資源を持つ美しい町や村等 が、「日本で最も美しい村」を宣言することで自らの地域 に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行い、 地域の活性化と自立を住民自らの手で推進することを支援 します。また連合の目的としては、生活の営みにより形成 されてきた景観・環境や地域の伝統文化を守り、これらを 活用することで観光的付加価値を高め、地域資源の保護と 地域経済の発展に寄与することです。加盟から約15年経過 した現在の状況について4点伺う。	町 長
		(1) NPO法人「日本で最も美しい村連合」は、喜界町民に 対してどのような形で地域に誇りを持たせ、地域活性 化と自立を住民自らの手で推進することができるよう、 支援してきたのか伺う。	
		(2) 本町の生活の営みにより形成されてきた景観・環境 や地域伝統文化を守り、これらを活用することでどのよ うに観光的付加価値を高めてきたのか伺う。	
		(3) また、本町の地域資源の保護と地域経済の発展にど のように寄与したのか伺う。	
		(4) この15年間で加盟の負担金として、毎年62万円、約 900万円を支出しているが、喜界町民はどのような恩 恵・利益を受けたのかを伺う。	
	2 日本ジオパーク 認定について	本町は、2014年より喜界島サンゴ礁科学研究所が活動を 開始し、2023年には喜界島ジオパーク推進協議会が発足、 翌年には、日本ジオパーク認定に追い風となる第2回「世 界地質遺産100」にも認定された。そこで、日本ジオパー ク認定を受けるまでのスケジュールと組織運営について2 点伺う。	町 長

令和6年第4回定例会一般質問通告書

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
原田 尚樹 議 員	2 日本ジオパーク認定について	(1) 日本ジオパーク認定までのスケジュールと喜界町としての目的、目標を伺う。 (2) 三島村・鬼界カルデラジオパークは、2015年9月4日に日本ジオパーク認定を受けており、来年で10周年を迎える。認定までには、地質学専門員を配置して取組を進めたと伺っている。本町の認定までの組織構成と、その組織でどのように進めていくのかを伺う。	町 長
	3 島のブランドを活用した資金確保について	「日本で最も美しい村連合」への加盟や日本ジオパーク認定に向けた活動は、喜界島のブランド力、魅力の向上に繋がり、今後観光客や学術的な専門家、学生の研究チームなど多くの来島者が見込まれると考える。 (1) 全国に先駆けて、2023年に世界遺産の厳島神社がある広島県廿日市市の宮島では訪問税が導入された。竹富島も訪問税の導入に向け、動いている。本町としても、今後の環境保全や持続可能な島づくりのための運営資金、または町民生活に活用できる財源となる訪問税・入島税の導入が必要であると考えているが、見解を伺う。	
向井 博己 議 員	1 防災とライフラインについて	(1) 台風10号により停電、通信障害の被害が1週間ほど続いた。現在でも固定電話が正常に機能せず、一手間かけて通話をしなければならない世帯があります。私を知る限り、このような被害が続いているのは独居高齢世帯です。このような事態になっている要因の一つが倒木、木々の揺れによる断線であると考えられます。復旧に尽力頂いた九電工、NTTの作業員からも樹木等の伐採をしていれば、作業効率が上がり復旧が早まるとの話を聞いております。そこで、2点お伺いします。 ① 町民生活に支障をきたす、特に町道などに覆い被さる樹木等について、日頃から検査、点検をされているか伺う。 ② 検査、点検の結果、あるいは町民からの通報で早急に対応しなければならない箇所を確定し、台風シーズンまでに整備することが必要であり、それは可能であると考えますが、見解をお伺いします。	町 長
	2 住民サービスについて	(1) 喜界町役場には、総合窓口案内がないと高齢者や観光客からも設置を望む声を頂いております。設置が可能か伺います。 (2) 本町でも60歳以上の高齢者の人口が60%になろうとしている。その高齢者の方々から、多岐にわたる困りごとを何処に相談したらよいかと相談を受けます。役場に高齢者困りごと相談センターの設置をお願いしたい。	
	3 景観保全について	(1) 伊砂から伊実久に行く途中の歩道側の雑木を伐採できないか。県、町どちらの管理なのか分からないが、対応をお願いします。	
中山 義浩 議 員	1 漁業の振興について	豊富な水産資源をもつ本町であるが、漁業従事者の高齢化、減少が顕著であり、今後水産業の衰退が懸念されるので質問します。 (1) 現在の物価高騰の影響を受け、漁船関連機器、資材も高騰しており多額の資金が必要であることから、漁業従事者の新規参入や規模拡大が進んでいないのが現状であるため、今後、町が積極的に漁業従事者を支援していく必要があると考えるが、町長の見解を伺う。	町 長

令和6年第4回定例会一般質問通告書

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
中山 義浩 議 員	2 町道について	(1) 早町地区、平家森付近の町道は長期間片道通行となっている。避難経路ともなっており、早急な対応が求められると考える。進捗状況と工事予定を伺う。	町 長
良岡 理一郎 議 員	1 令和7年度自衛隊の降下訓練について	(1) 訓練の内容を伺う。	町 長
		① 訓練日時（日別使用機材、数）	
		② 日時ごと訓練項目、飛行経路及び訓練場所	
		③ 参加国、部隊、人数	
		④ 町民への周知	
		(2) 町民の安全確保のための対策 島内での生地訓練に伴う安全確保は町が責任を持つものである。	
		① 訓練前に訓練エリアの現場での安全点検を強化すべきである。今回は500名と参加人数もこれまでの最大規模である。	
		② 訓練の周知は振興大会で行っているとのことだが、「承諾書」について伺う。	
		ア、目的、対象者 イ、事故発生時の責任所在	
		③ 訓練エリアや集落に赴いての丁寧な説明、町民の意見・要望を伺うことが必要ではないか。	
		(3) 自衛隊の町内での行動は、公務と私用を明確に区別すべきである。公用車、制服での私用。	
	2 自衛官募集への町民の名簿提供について	(1) 募集の現状について	町 長
		① 自衛隊へ提供している個人情報項目、提供時期	
		② 令和7年度対象者数、年齢別、男女別	
		(2) 名簿からの除外申請について	
		① 本来、個人情報保護の趣旨からすれば、個人の了解が必要である。少なくとも広報誌などで除外申請できることを周知すべきであると考え。この間の令和6年第3回定例会で町も周知方法を検討すると答弁がなされている。	
		② 答弁を踏まえ、広報きかい11月号（689号15P）で自衛官等募集事務に係る対象者情報の除外申請手続きについて案内を掲示している。個人情報の趣旨からすれば当然のことである。	
		③ 令和7年4月以降の除外申請受付期間を伺う。窓口は自衛隊ではなく本町総務課とすべきではないか。	
		④ 本件については人権擁護の観点から、当該高校に向いて丁寧な説明をされたらどうか。	

令和6年第4回定例会一般質問通告書

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
良岡理一郎 議 員	3 健康保険証の新 規発行停止への 対応について	(1) 政府は12月2日に健康保険証の新規発行を停止し、マイナカードと保険証の一本化を強行しようとしている。 デジタル庁によると9月末現在、マイナカードに保険証としての利用を登録しているのはカード保有者数全体の 81.2%に達する。しかし、直近のマイナ保険証の利用率を見ると国民の不信・不安の根強さを表している。改めて利用率を伺う。	町 長
		① 本町、鹿児島県、国全体	
		② 本町は国家公務員の皆さんも多く生活されている。 マイナ保険証の利用を促進すべき国家公務員の利用率13.58%、うち防衛省10.69%と極めて低い。町としてどのように認識しているか。	
		(2) 今後の対策を伺う。	
		① 9種類のオンライン資格確認方法の内容と町民への周知	
		② 停電、災害時の病院、診療所、歯科医院の対応	
		③ マイナ保険証解除出来ることの町民への周知	
		④ マイナカードの電子証明書有効期限5年経過後の対応	
	4 自然災害復旧作 業の進捗情報の 提供について	(1) この間台風の影響で交差点等のロードミラーの損壊が多い。運転に不安を感じるとの指摘もされている。 過去には小野津のハワイ海岸、中里の遊歩道も大きな被害を受けている。町民の皆さんから修理・復旧の要望も出されており、町の担当窓口に直接、間接に届いていると思われる。町も真摯に対応していると理解している。ところが、作業の進捗が提供されないため同じ案件情報が重複する場合やあまりにも遅いとの苦情が絶えない。進捗情報を広報誌や区長会を通じて提供されたらどうか。	町 長